

令和3年度小中英語パートナーシップ事業 推進地域実践報告(南会津地区)

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

	拠点校Ⅰ (南会津町立館岩中学校)	拠点校Ⅱ (南会津町立館岩小学校)
次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルコンテンツのさらなる活用 ○ 「書くこと」の活動の工夫 ○ CAN-DOリストの生徒との共有 ○ 拠点校Ⅱとのさらなる連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○ パフォーマンステストコンテンツのさらなる活用 ○ 帯活動の継続 ○ CAN-DOリストの充実 ○ 拠点校Ⅰとのさらなる連携
取組を振り返って	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルコンテンツを活用することで、言語活動の時間の確保、目的・場面・状況を明確にした言語活動を設定することができた。 ○ パフォーマンステストを実施することで、生徒の英語を使ってALTとコミュニケーションを図りたいという意欲を高めることができた。 ○ 拠点校Ⅱと検討して作成したCAN-DOリストを生徒と共有することで、生徒の実態をより具体的に把握できた。 ○ 拠点校Ⅱと課題や指導法を共有することで、これまでの生徒の学習のあゆみを理解することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ パフォーマンステストコンテンツを活用することで、個に応じた指導をすることができた。 ○ 継続的に帯活動をすることで、会話を続けようとする力が育まれた。 ○ 拠点校Ⅰと連携したCAN-DOリストを作成し、つながりを持たせることができた。 ○ 拠点校Ⅰと課題を共有し、連携することで、児童の学習状況を振り返りながら、理解を深めることができた。
課題に対する具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ デジタルコンテンツを活用し、目的・場面・状況を明確にした。 ○ ALTと生徒の会話や生徒の学級内での発表などのパフォーマンステストを実施した。 ○ 拠点校Ⅱと連携し、CAN-DOリストを生徒と共有し、ふり返りに活用した。 ○ 拠点校Ⅱと指導内容について検討する時間を設けた。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 帯活動で、既習事項を取り入れたスモールトークを継続的に行き、「聞くこと」「話すこと[やり取り]」の活動の充実を図った。 ○ ALTと児童の会話や学級内での発表などのパフォーマンステストを実施した。 ○ 拠点校Ⅰと連携し、CAN-DOリストを生徒と共有し、ふり返りに活用した。
年度当初の課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 与えられたトピックやテーマに対して、自分の意見を伝えようとする力 ● 自分の意見や考えを、英語で書いて伝える力 	<ul style="list-style-type: none"> ● お互いに会話を続けようとする力 ● 既習の英語を使い、会話を続ける力

推進地域の
重点的な取組

- CAN-DOリストの共有
- デジタルコンテンツの活用
- パフォーマンステストの実施
- 目的・場面・状況を明確にした活動の工夫